東大和市公園等再整備・管理運営方針（案）

～パーク・グラデーションの実現に向けて～

令和７年●月

東大和市

－ 目　次 －

1　公園等再整備・管理運営方針の必要性 …… 1

2　公園等の現状 …… 2

・公園等の現状①「公園等の面積・分布状況」
・公園等の現状②「公園等の施設内容及び運営状況」
・公園等の現状③「公園等の維持管理」
・公園等に対する市民ニーズ
・再整備の課題

3　パーク・グラデーションの実現に向けた考え方 …… 8

・３つの課題に対するパーク・グラデーションの実現に向けた考え方

4　パーク・グラデーションの実現に向けた取り組み …… 9

・ストックと魅力の充足に向けた広域エリアの設定
・「ストックを見直す」と「魅力を高める」の両方の視点の取り組み
　ＳＴＥＰ１．公園タイプの設定の取り組み
　ＳＴＥＰ２．機能の分担
　ＳＴＥＰ３．公園テーマの設定
・「魅力を高める」ための取り組み
・「みんなで支える」ための取り組み

5　パーク・グラデーション実現の進め方 …… １７

・パーク・グラデーションの実現に向けて

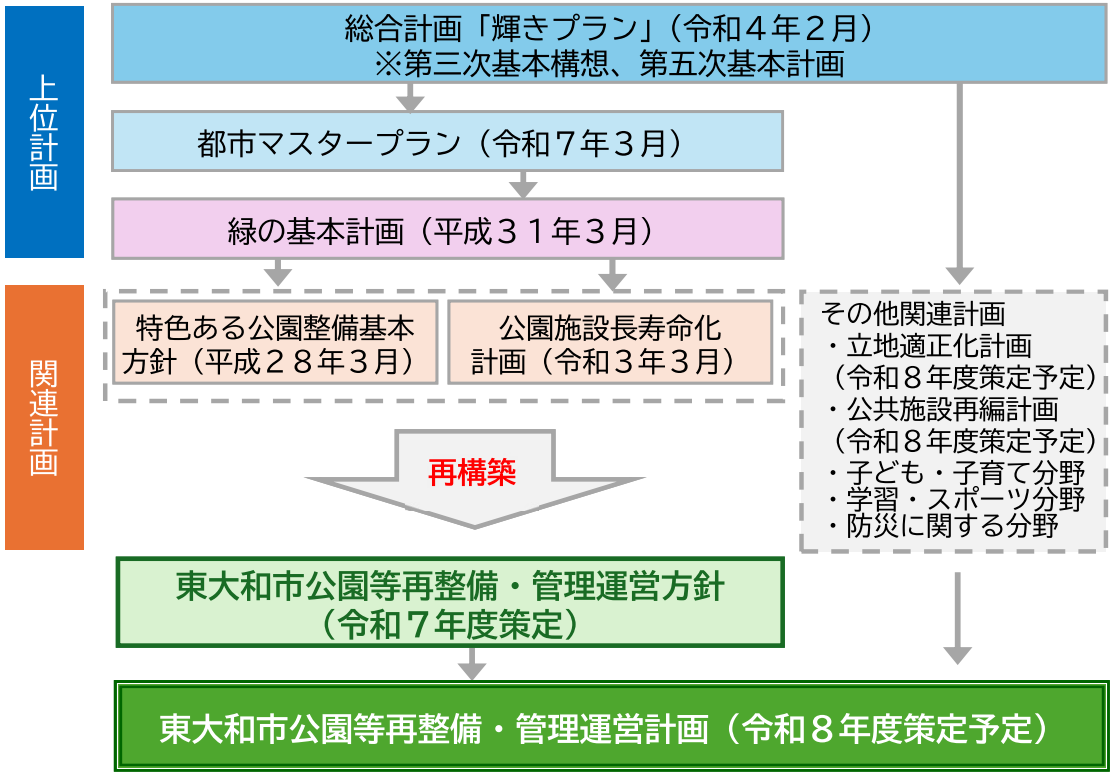
1 公園等再整備・管理運営方針の必要性

- 東大和市には、令和７年１月１日現在、１１８箇所の市立公園・緑地・こども広場（以下「公園等」という）があり、地域の緑や活動の場として市民に親しまれています。

- 一方、公園施設の更新は十分に進んでいない状況であり、また、人口減少や少子高齢化、近年の異常気象等の影響により、公園等の役割は多様化してきています。公園施設の老朽化への対策や、市民ニーズに応じた計画的な再整備・管理運営が課題となっています。

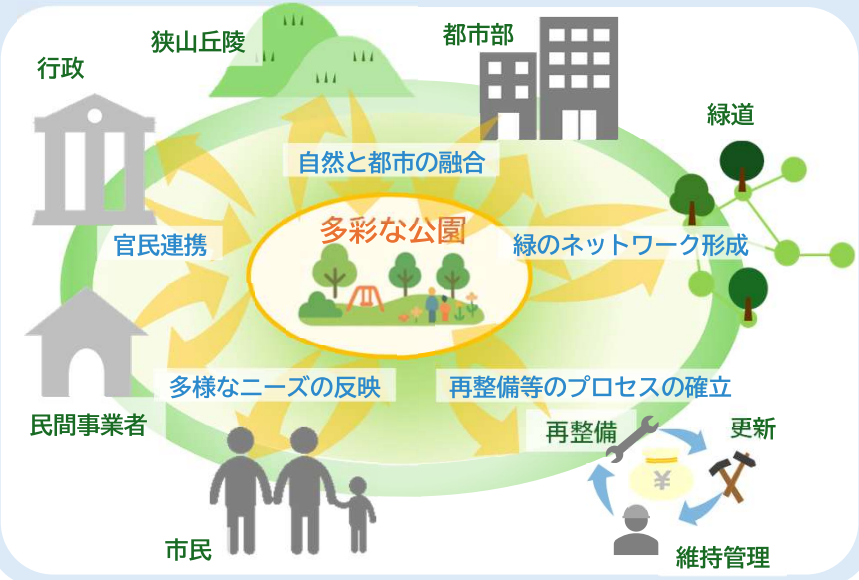
- これらの課題に対応するため、現状の公園等の管理運営を見直し、市民意見を反映した再整備を進めることにより、幅広い年代にとって魅力のある多彩な公園を目指して変化させていきます。

これらの基本的な考え方を
「東大和市公園等再整備・管理運営方針～パーク・グラデーションの実現に向けて～」
として整理し、方針に基づく計画策定を進めていきます。



パーク・グラデーションで目指すこと

・公園に係る多様な要素を自然な形で調和させながらグラデーションのように融合させて「多彩な公園」の実現を目指します。

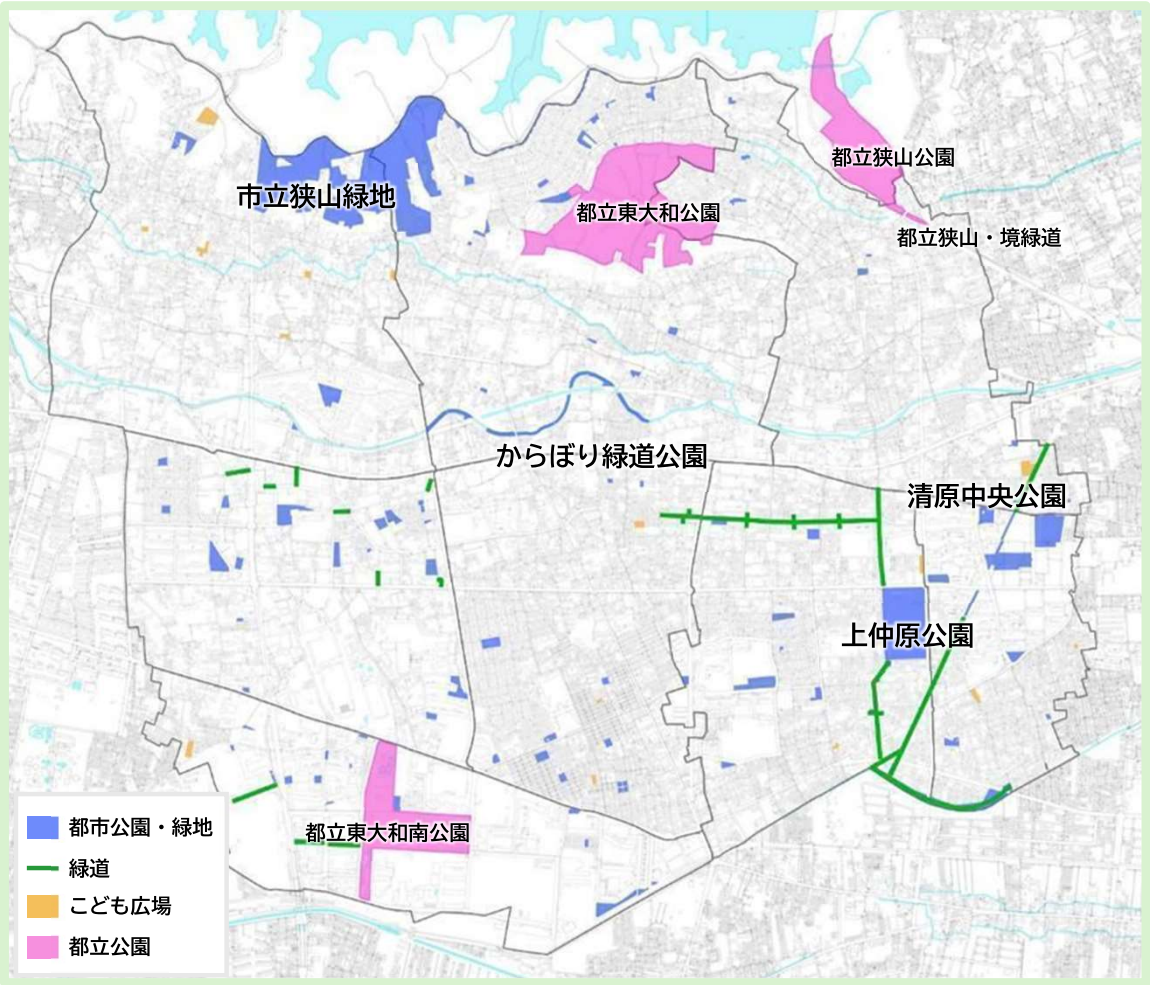


２ 公園等の現状

公園等の現状①　公園等の面積・分布状況：その１

- 市民１人当たりの公園等の面積は８．７６㎡／人で、**東京都（市部）の平均値（７．１９㎡／人）を上回って**います。
- 市内の公園等の**ほとんどが街区公園（主に街区内の居住者の利用に供することを目的とする公園）**となっています。
- 市内には、都立公園が４箇所あり、**市内公園等面積の半分以上を占めて**います。

１人当たりの公園等面積は東京都市部で第８位（令和７年４月１日時点）



公園等	箇所数	１人当たりの公園面積
街区公園	８１箇所	8.76㎡/人（令和7年4月1日時点）
総合公園	１箇所	
都市緑地	８箇所	
緑道	１３箇所	
こども広場	１５箇所	
都立公園	４箇所	
計	１２２箇所	
（うち市立公園等１１８箇所）		

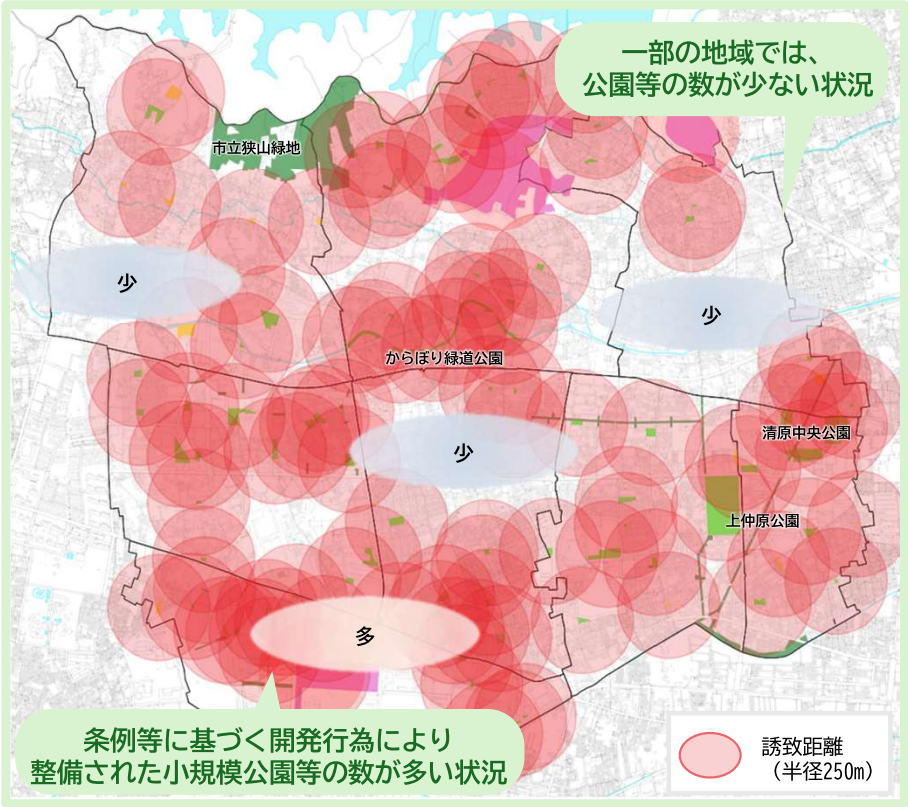
緑の基本計画（令和５年度時点）の目標値８．８２㎡/人に概ね到達

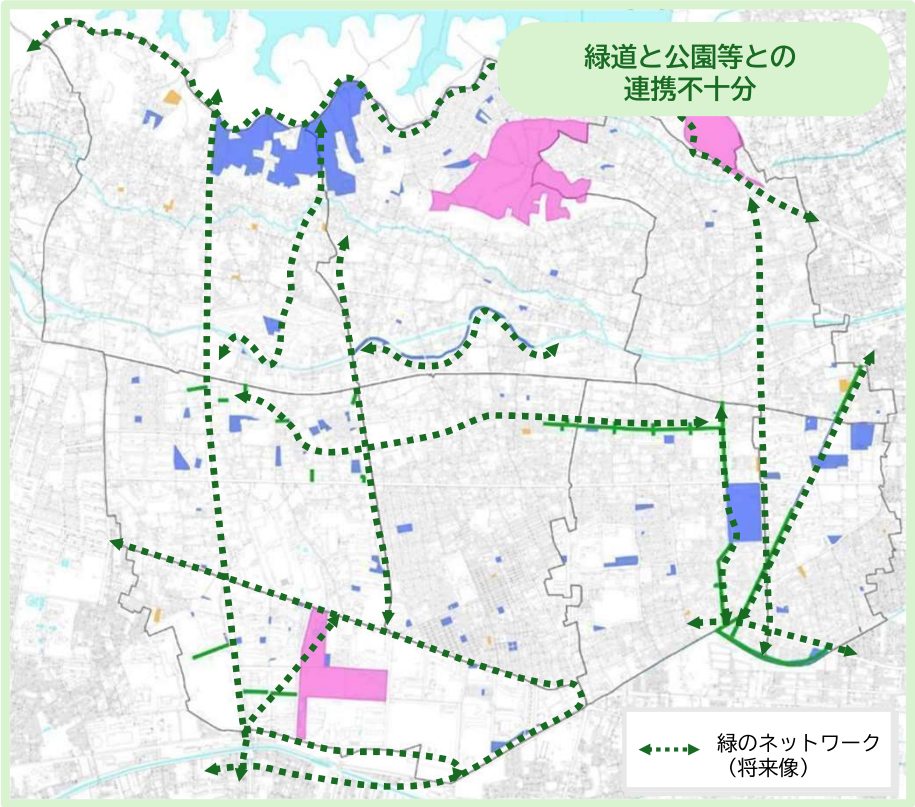
出典：東大和市都市マスタープラン（令和７年３月改定）

公園等の現状①　公園等の面積・分布状況：その２

- 市の北東部、中央部、北西部の**一部では、公園等の数が少ない**状況です。
- 小規模公園等が多い地域では、**類似した遊具等で構成された複数公園に対して維持管理の負担**が掛かっています。
- 市内の緑のネットワークの一部は、緑道により形成されていますが、**公園等との連携は不十分**です。

公園等の分布は地域により偏りあり





出典：東大和市都市マスタープラン（令和７年３月改定）

☑ **誘致距離とは？**…公園の利用者が気軽に行けるとされている距離

☑ **緑のネットワークとは？**…公園や緑地の自然をつなぐ、
街全体に潤いと安らぎをもたらす仕組み

公園等の現状②　公園等の施設内容及び運営状況

- 市立狭山緑地や上仲原公園などの大規模公園には多様な施設が設置されている一方で、**飲食や休憩の場所が少ない**、**イベント時には駐車場・駐輪場が手狭**になるなど、施設の充実が望まれています。
- 中・小規模公園では、**遊具などの施設構成が同じような公園等**が多く、またボール遊びなどは**利用ルールにより使い方に制限**があるため自由度が低く、利用者が使いにくい状況となっています。

ポテンシャルを活かしきれていない大規模公園

魅力ある施設を活かしきれていない/
多くの人が集まるための整備が不十分

市立狭山緑地

フィールドアスレチック

郷土博物館・プラネタリウム

出典：東大和市HP

上仲原公園

芝生の広場

駐輪場が不十分(イベント時)

使い方の自由度が低い中規模・小規模公園

同じような施設内容の公園/
自由度の低い公園

遊具の構成が同じような公園

類似した遊具構成（ブランコや滑り台）の公園等

利用ルールにより使い方に制限がある公園

ルールを示す看板

現状③　公園等の維持管理

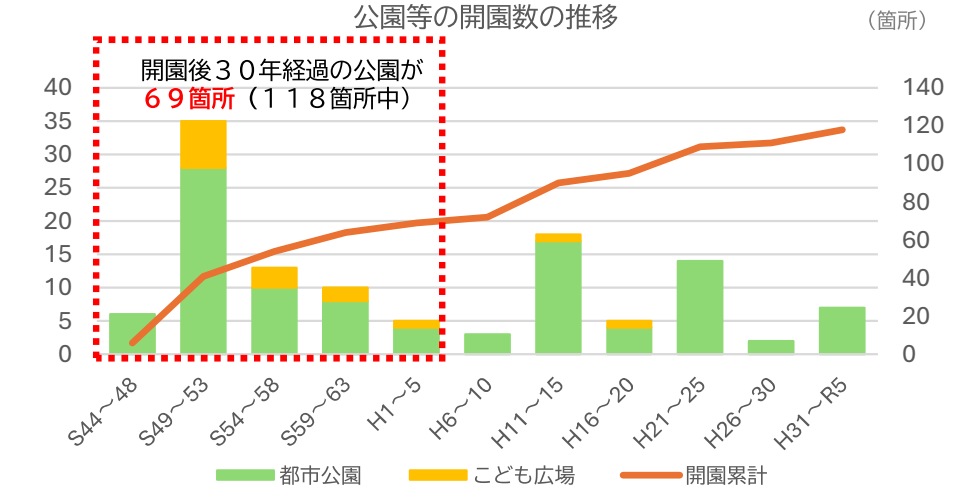
- 遊具や施設の老朽化の状況や利用頻度などを踏まえて、優先的に対応が必要な施設から更新を進めていますが、限られた予算の範囲では、**十分な維持管理が行き届かない状況**にあります。
- 公園施設の修繕や更新に加えて、樹木の適切な管理も必要であり、人手不足に伴う人件費の上昇や資材価格の高騰などを背景に、今後は**維持管理費用がさらに増加**すると予想されます。

公園等における不十分な老朽化対策や維持管理

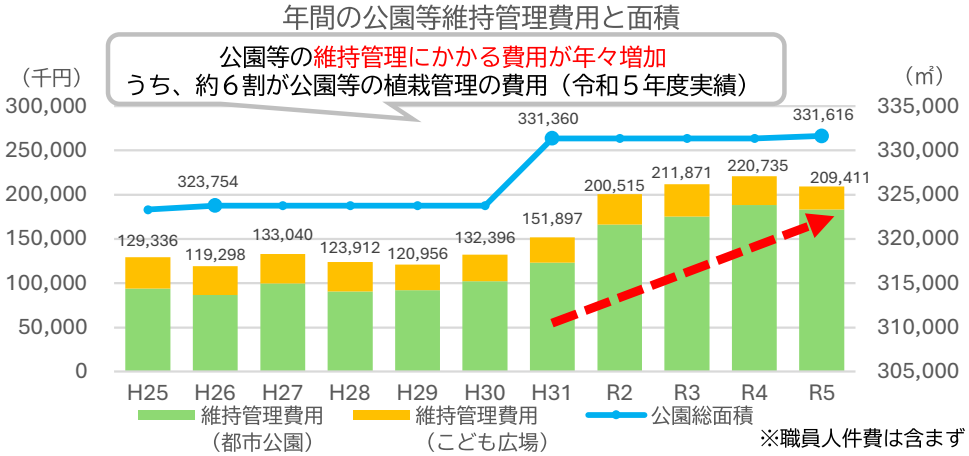
一部の公園では
除草作業が不十分

大木化した樹木等の
維持管理が不十分

公園等の老朽化が加速



年々増加する公園等の維持管理にかかる費用



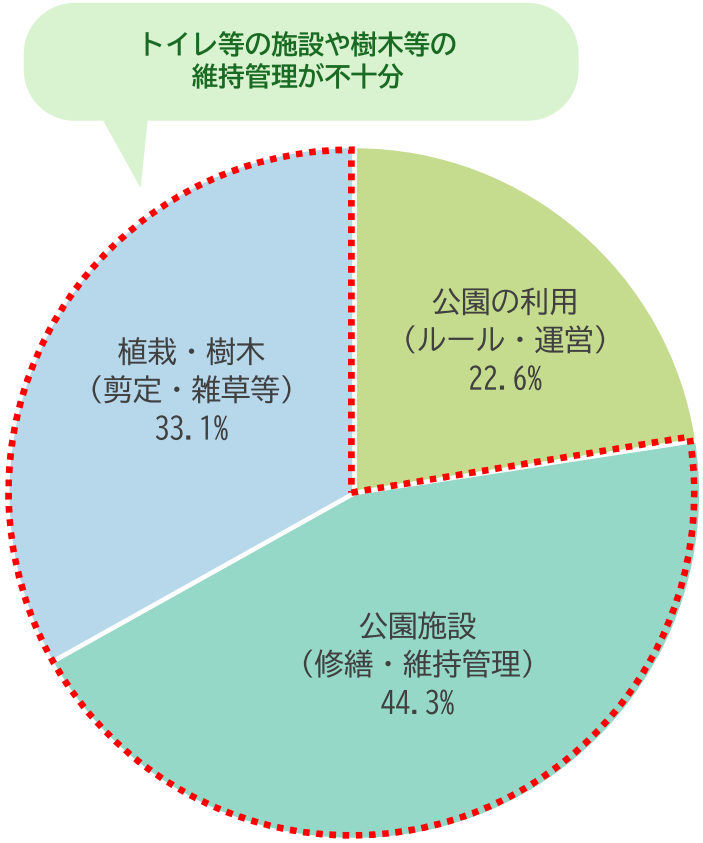
※職員人件費は含まず

２ 公園等の現状

公園等に対する市民ニーズ

- 市民からは、トイレなどの**公園施設の適切な清掃や修繕、植栽・樹木の剪定・伐採などの維持管理**に関する要望が多く寄せられています。
- 大人・子ども共に、公園に対しては**「遊び」の場としての期待**が大きく、また小学生からは**大人・子どもが使いやすい公園**にするための意見が多く出されるなど、より**多目的な使い方へのニーズ**も高まっています。

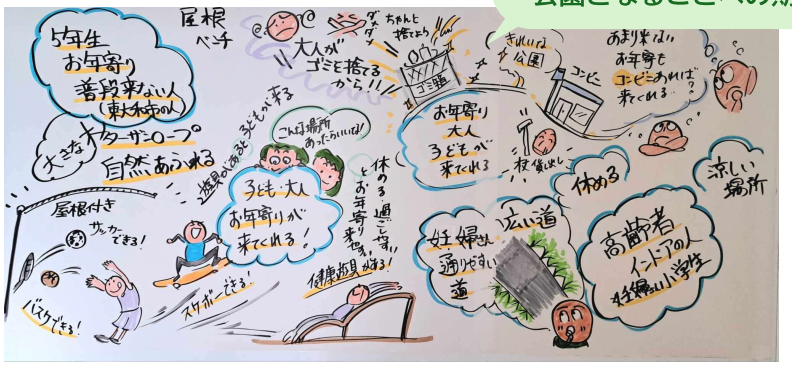
公園施設や樹木等の維持管理に対する多くの意見・要望



「市へのご意見・お問い合わせ」に寄せられた公園等へのご意見・ご要望
（令和２年３月から令和６年６月までの期間）

多様な世代が使いやすい「遊び」の場に対する多くの声

大人・子どもが使いやすい
公園となることへの期待



小学生が考える公園のあり方
（グラフィックレコード）
市立第三小学校/令和６年１０月２１日実施

再整備・管理運営の課題

- 公園等再整備に向けた課題は、大きく「ストック」の偏り/「特色」の不足/「持続性」の不足の３つに分けられます。
- これらの現状を踏まえ、今後は市民のニーズや地域の実情に応じた、公園等の再整備を進めていきます。

３つの課題

「ストック」の偏り

- 地域ごとの公園等設置の数に偏りがある。
- 小規模公園が多く十分なスペースがなく活用しづらい。
- 緑道と公園との連携が不十分である。

「特色」の不足

- 遊具や施設の構成が同じような公園等が多く、多様性が乏しい。
- 多様なニーズに対する施設の充実が図れていない。
- 利用ルールにより使い方に制限があり、多目的な活用が難しい。

「持続性」の不足

- 老朽化対策や維持管理が不十分で手が行き届いていない。
- 維持管理費用のさらなる増加が予想される。
- 多くの人を受け入れられる体制/仕組みが不十分である。

課題解決に向け、公園等再整備・管理運営を推進

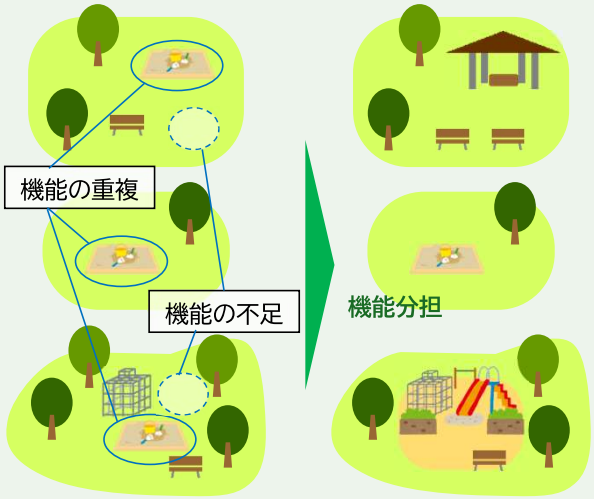
☑ストックとは？…これまで整備されてきた既存の公園等や公園等施設のことです

3 パーク・グラデーションの実現に向けた考え方

３つの課題に対するパーク・グラデーションの実現に向けた考え方

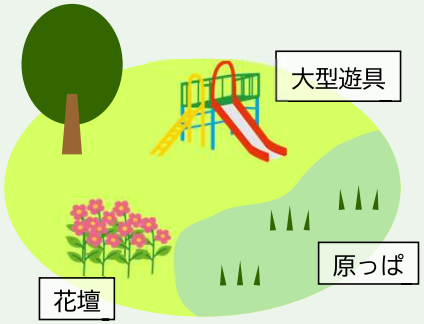
- 将来にわたり、幅広い年代にとって魅力のある多彩な公園であり続けられよう、今ある公園ストックを活かしながら公園等の**機能を分担し、市民が利用しやすく、特色ある公園等の実現**を目指します。
- 公園等の施設の修繕や管理運営においては、**民間事業者のノウハウも活用しつつ、持続可能な体制づくり**を進めていきます。

ストックを見直す



・市民の利用しやすさを考えた公園
公園タイプの配置や機能の分担

魅力を高める



・市民の声を踏まえた、施設や使い方に**特色のある公園**づくり

みんなで支える

・公園に**多様な主体が関わりやすい体制/仕組み**づくり

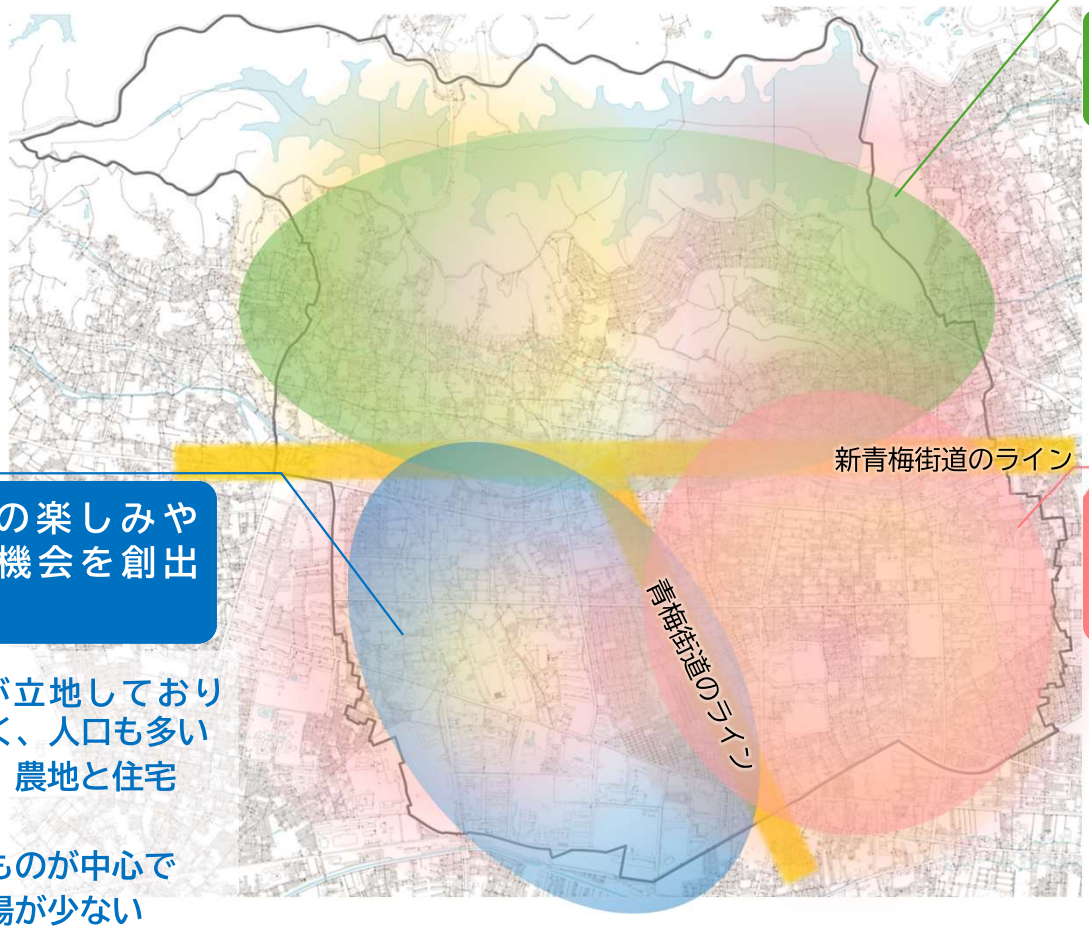
「パーク・グラデーション」の実現

4 パーク・グラデーションの実現に向けた取り組み

ストックと魅力の充足に向けた広域エリアの設定

- 公園等のストックと魅力を充足させるため、広域的に機能や魅力が偏りなく行き渡るよう市域を３エリアに分けて、公園等の**再整備・管理運営**を検討します。
- 持続可能な管理運営の実現に向け、**限られた財源を効果的・効率的に活用**していきます。

広域的なエリアの設定



北部エリア

★自然とふれあい、遊びと学びを楽しむ公園エリア

- 狭山丘陵や農地など、自然が豊かに残る
- 戸建て住宅が多く、昔ながらの地域のつながりが強い
- 東部を中心に公園が少ない

南西部エリア

★街なかに市民の楽しみやチャレンジの機会を創出する公園エリア

- 多くの集合住宅が立地しており新しい住宅地が多く、人口も多い
- 生産緑地が点在し、農地と住宅が共存する
- 公園等は小規模なものが中心でまとまりのある広場が少ない

南東部エリア

★多世代交流ができる地域コミュニティを広げる公園エリア

- 団地や集合住宅が多く、多世代の住民が暮らしている
- 公園等に隣接するスポーツ施設が複数ある
- 公園等と緑道、野火止用水をつなぐ緑のネットワークがある

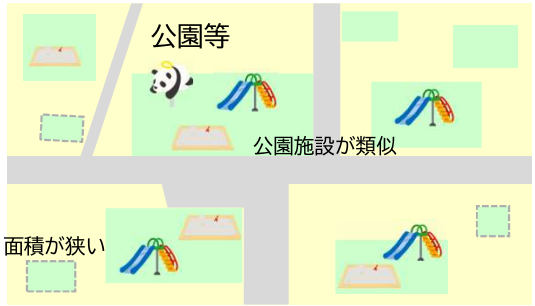
4 パーク・グラデーションの実現に向けた取り組み

「ストックを見直す」と「魅力を高める」の両方の視点の取り組み

- 公園等のストックがエリア内でバランスよく配置され、市民にとって利用しやすくなるよう、**利用状況や公園面積、既存施設等に考慮し、公園等（ストック）の機能の分担**を図ります。
- 個々の公園等に具体的なテーマを設定することで、**特色や個性を活かす公園づくりを進め、その魅力を向上**していきます。

「公園タイプ」の設定及び「機能」分担、「公園テーマ」の設定の考え方

Before

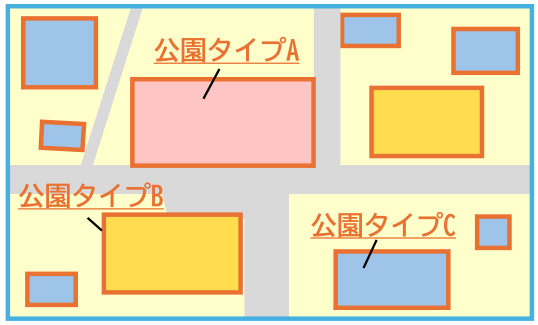


市民の要望・意見…

After

STEP１．公園タイプの設定

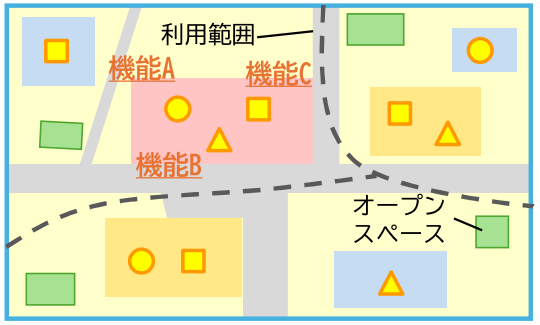
エリア単位　（※Ｐ１１参照）



・利用状況や面積により、公園等を３つの「公園タイプ」に分類

STEP２．機能の分担

（※Ｐ１２参照）

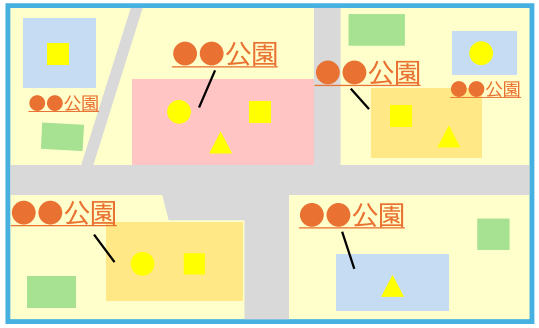


・想定される市民の公園等の利用範囲を考慮し、機能を再配置

・上記の結果、機能の分担を要さない公園等は、オープンスペース化を検討

STEP３．公園テーマの設定

（※Ｐ１３参照）



・分類した公園タイプと機能の分担に応じて公園テーマを設定

4 パーク・グラデーションの実現に向けた取り組み

ＳＴＥＰ１．公園タイプの設定の取り組み

- 既存の公園等の公園面積や利用者層、利用範囲を踏まえて、魅力的な施設（機能）をエリアごとに配置し、**市民が目的や好みに応じて利用する公園を選べる環境**をつくります。
- 各公園等の利用方法や施設規模を見直し、**多彩で利用しやすい公園を整備**していきます。なお、近接する公園等と機能が重複する小規模公園は、必要最低限の施設（ベンチなど）のみを残す、「オープンスペース」に設定します。

公園タイプの考え方

面積規模と利用実態（利用範囲）に応じて「公園タイプ」を設定します。
公園タイプによっては、複数の機能を有することがあります。

	各公園数	利用範囲
●にぎわい公園 魅力ある市のシンボル公園	３公園	市内外
●わくわく公園 休日の楽しみになる公園	約１５公園	市内
●まいにち公園 選択肢にあった日常の公園	約４０公園	学校区
●オープンスペース ひと息つける小さな公園	約６０公園	近所

機能の数

公園タイプの設定により
多様でメリハリのある公園が存在

ＳＴＥＰ２．機能の分担

- 既存の**公園ストックを有効に活用**するために、公園等に求められる機能とその効果を合わせて以下の６つに整理しました。
- **市民が多彩で利用しやすい公園等**となるよう、公園等の機能を設定し分担します。

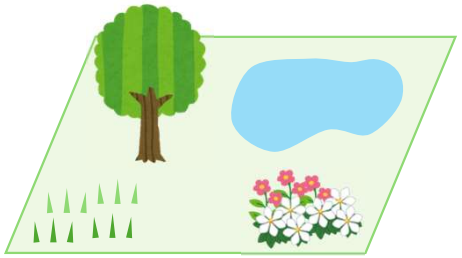
公園等に求められる機能とその効果

遊び・学び

乳幼児　児童

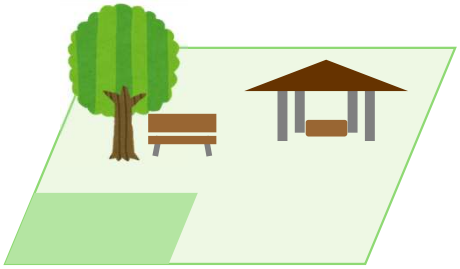
・１２歳以下の子どもが、遊具や自然を通じて楽しく遊び・学ぶことができる
※年代に応じた乳幼児用・児童用遊具のほか、インクルーシブ遊具の整備についても検討します

潤い



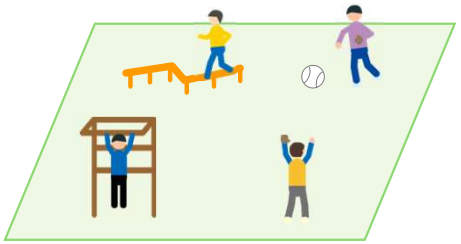
・花や木、水や生き物など、身近な自然にふれることができる

憩い



・草地や木陰の中で、日常的に癒しを感じながら、ゆっくりくつろぐことができる

スポーツ・健康

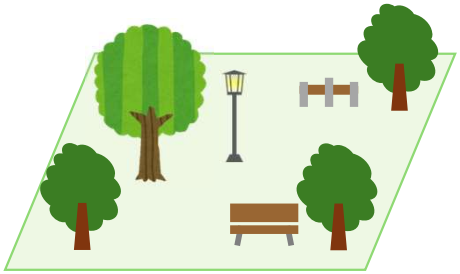


・誰もが自由に身体を動かし、健康づくりや運動を楽しむことができる

賑わい

・イベントや飲食施設などを通じて交流し、地域のにぎわいを感じることができる

安全・安心



・避難場所や防災施設により、安全・安心に利用することができる

STEP3．公園テーマの設定

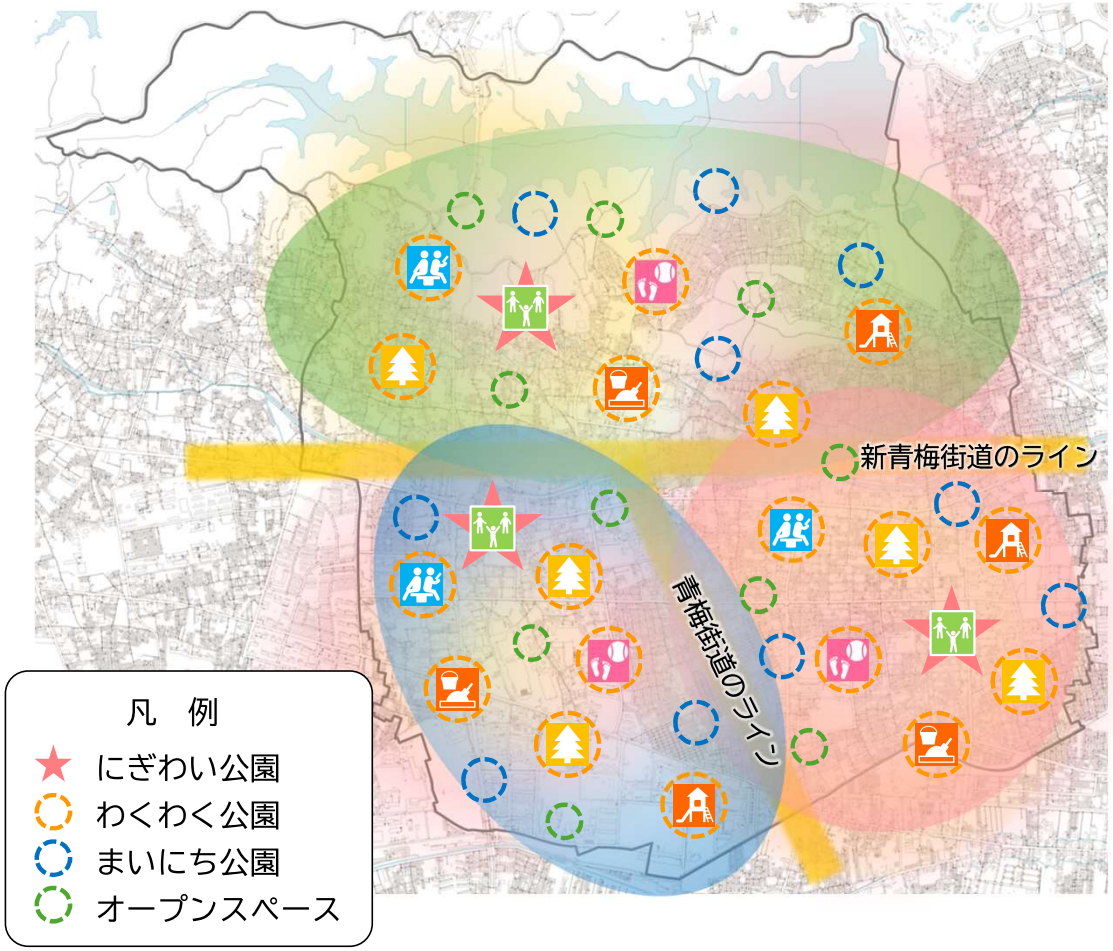
各公園等の公園タイプ・機能の分担後、**それぞれにふさわしい公園テーマを設定して、個性を持った魅力**にしていきます。

公園タイプと公園テーマ

公園タイプ	公園テーマの例
にぎわい公園 魅力ある市のシンボル公園	エリアテーマ(P.9参照)に沿った公園テーマを各公園に設定
わくわく公園 休日の楽しみになる公園	キッズエリアのある公園 魅力的な遊具のある公園 運動広場のある公園
まいにち公園 選択肢にあった日常の公園	乳幼児と親が行きたくなる公園 大人の居場所となる公園 草花が豊かな公園
オープンスペース ひと息つける小さな公園	基本的にベンチ等のみで構成される公園 ※維持管理費の圧縮にも寄与

エリア単位での機能・魅力の配置

市域で公園タイプと機能がバランスよく充足



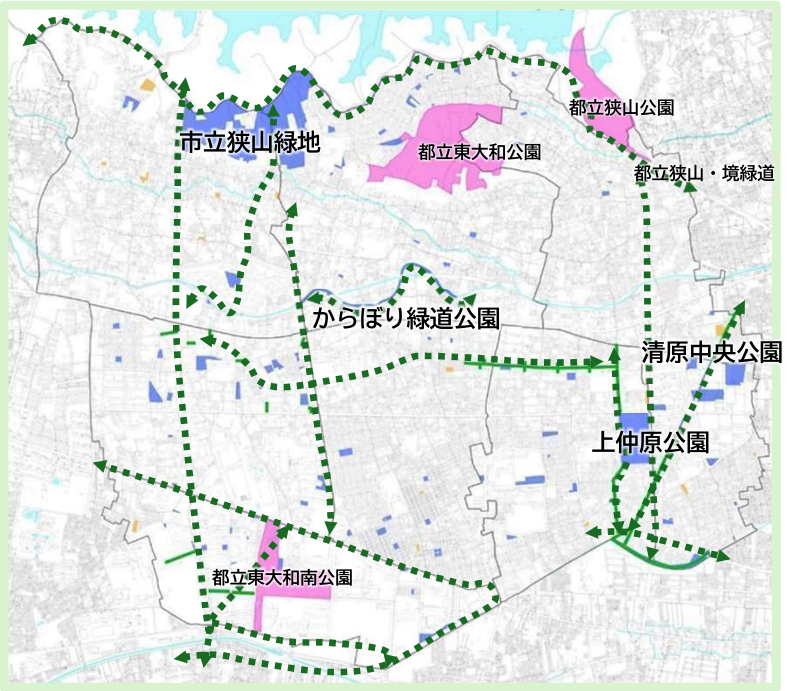
↑公園タイプごとのテーマは検討中で、計画策定に向けて変更の可能性があります。

4 パーク・グラデーションの実現に向けた取り組み

「魅力を高める」ための取り組み

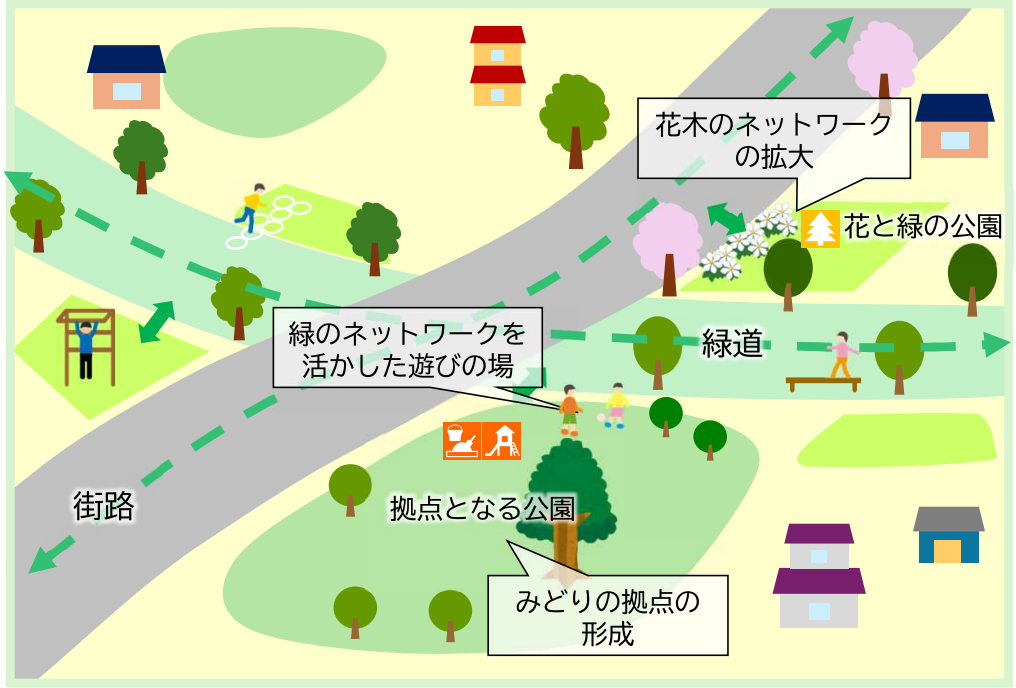
- 緑道などのネットワークに、多世代が満足できる機能や魅力を付加し、ネットワークの先にある**公園等に自然と足を運びたくなる空間**をつくります。
- さらに、短時間でも立ち寄りたくなるように休憩スペースなどを設け、**利用しやすくまとまりのある緑の空間**を目指します。

緑のネットワークと公園等の連携による強化



緑のネットワーク（将来像）

出典：東大和市都市マスタープラン（令和７年３月改定）



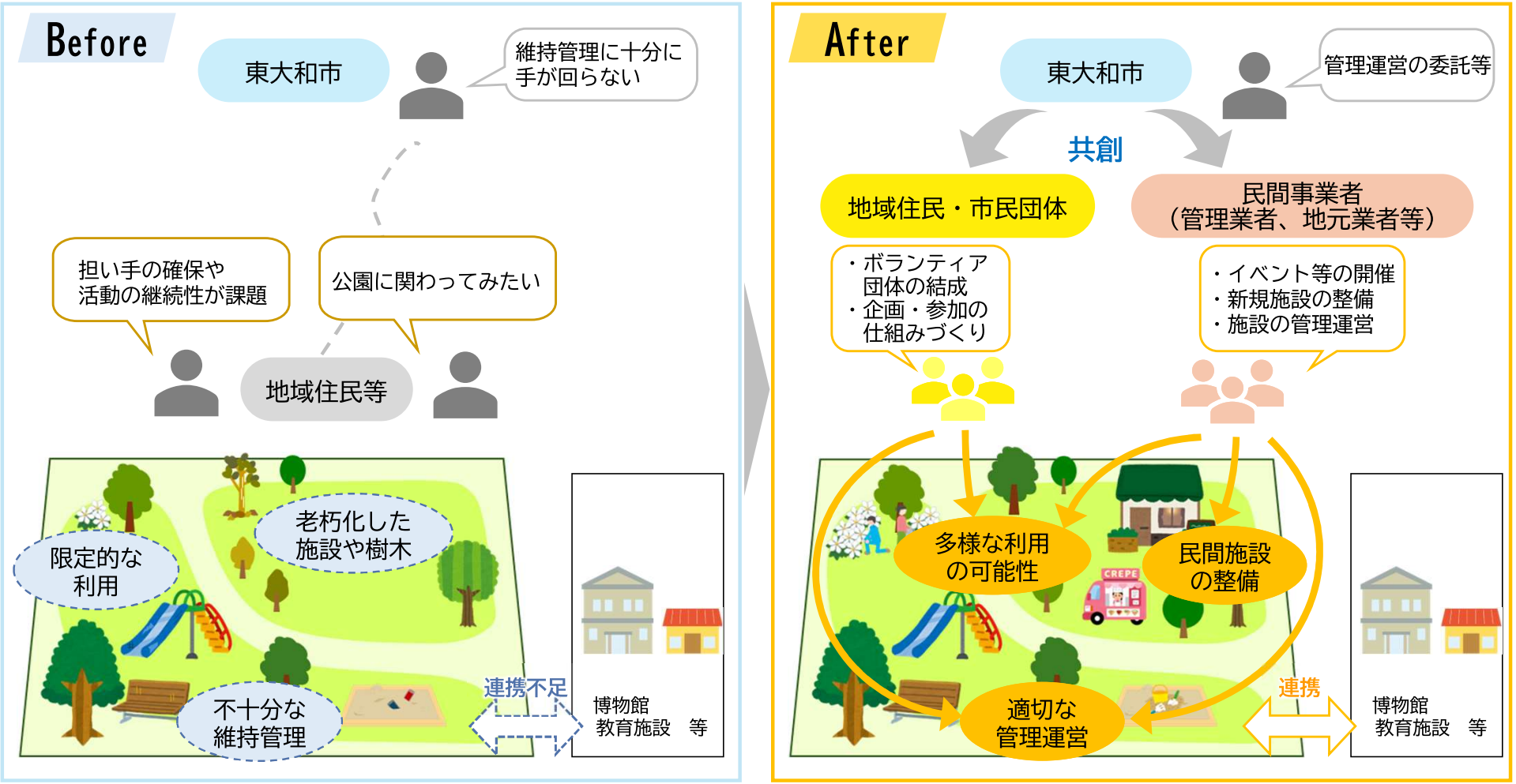
緑のネットワークと公園等の連携による魅力の強化

4 パーク・グラデーションの実現に向けた取り組み

「みんなで支える」ための取り組み：その1

- 公園等を今後末長く大切に使い続けられるよう、**共創の取り組み**を積極的に取り入れていきます。
- 公園等の施設の老朽化が進む中、多様化する市民ニーズに対応し、幅広い年代にとって魅力のある多彩な公園を目指すために、**民間事業者のノウハウを活用**します。

共創による公園等の管理運営



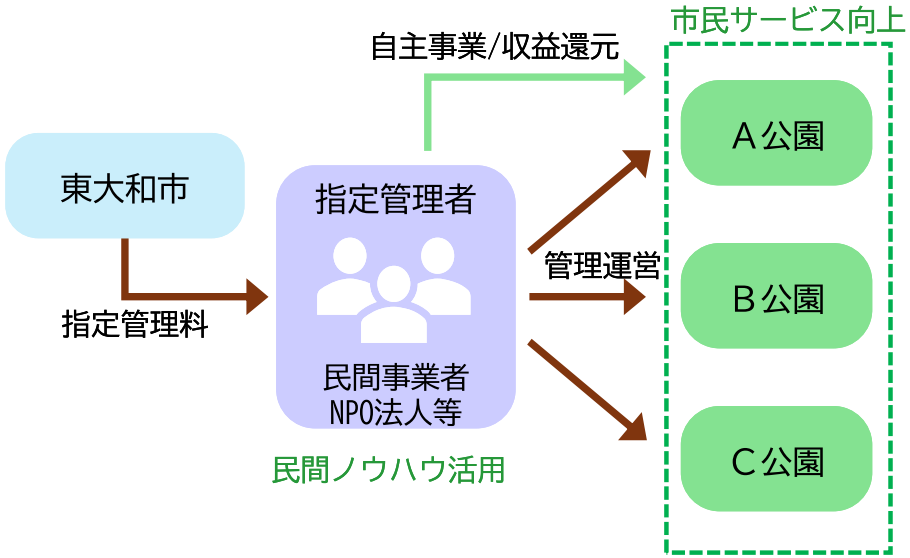
4 パーク・グラデーションの実現に向けた取り組み

「みんなで支える」ための取り組み：その２

- 公園等の機能分担やテーマ設定に加えて、財政負担の軽減に努めながら、**持続可能な管理運営**を進めるため、**民間事業者のノウハウ**を活用します。
- 市立狭山緑地や上仲原公園など、多くの利用者が見込まれる大規模公園を中心に、民間事業者による飲食施設などの収益施設の設置など、新たな**魅力を高める施設整備**を検討していきます。

主な官民連携手法

指定管理者制度



Park－PFI（公募設置管理制度）

☑ **指定管理者制度とは…**

- 行政に代わり民間事業者やNPO法人が公の施設の管理運営の一部を行う手法
- 民間のノウハウ活用や自主事業により幅広いサービスの提供や市費の負担軽減に貢献

☑ **Park－PFI（公募設置管理制度）とは…**

- 民間事業者が設置する飲食店や売店等の収益施設（公募対象公園施設）から得られる収益を活用して、その周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる公共部分の一部（特定公園施設）を一体的に整備・維持管理をする手法

5 パーク・グラデーション実現の進め方

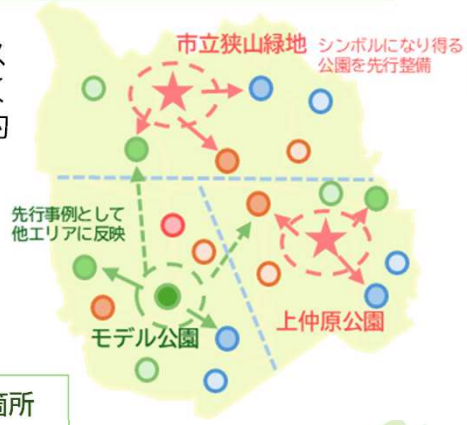
パーク・グラデーションの実現に向けて

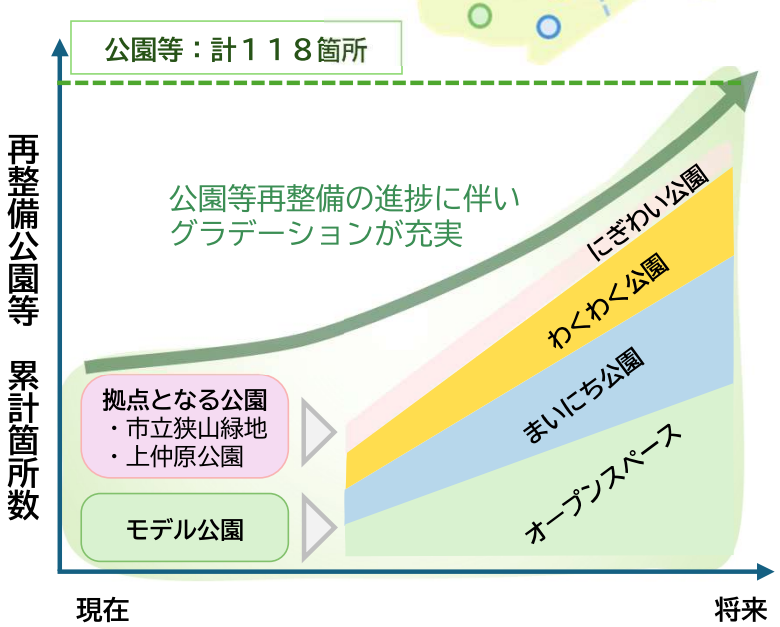
- 今後再整備を進める際には、年間の整備箇所数の目標を設定し、市域で公園タイプと機能をバランスよく充足させるよう、計画的に公園等を配置し、**モデルとなる公園**を１箇所、優先的に再整備します。
- 各エリアにおいて、**東大和市のシンボル・モデルとなり得る公園等**を１箇所ずつ選定し、整備手法の検討も含めて優先的に再整備を進めます。

市域に広がる多彩な公園等

・市域とエリアでバランスよく再整備を進めていくため年次を定め、計画的に進めます。

・再整備には優先順位を定めます。





先行して再整備を検討する公園等

エリア	北部エリア	南東部エリア	南西部エリア
公園名	市立狭山緑地	上仲原公園	モデル公園
公園タイプ	にぎわい公園		わくわく公園・まいにち公園
整備のイメージ	・自然での貴重な遊び体験の創出（プレーパーク等） ・自然環境を活かしたアウトドア施設等の整備 ➡ ・民間活力導入の検討 ➡ ・エリア内の公園等を併せた包括的管理・運営	・スポーツ施設の充実 ➡ ・一度に多くの人が集まれる広場や施設の整備 ・市民交流を促進する飲食スペースの整備 ➡ ・民間活力導入の検討 ➡	・パーク・グラデーションのモデルとなるような公園を選定し、モデル公園として先行して整備 ・また、モデル公園周辺の公園についても同時に整備していくことで多様な体験の提供が可能な地域独特の公園群を実現

編集・発行

東大和市まちづくり部都市基盤課

〒207-8585
東京都東大和市中央3丁目930番地
電話：042-563-2111